

平成23年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
調査研究事業

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【「ホワイトコスメ・エステ」による地域資源活用・地域活性化プロジェクト】 ブランドの普及を進めるための戦略(観光客へのモニター調査や、ビジネスモデル・他産業との連携など)を構築するとともに、中期計画の策定を行い、観光特産品の多様化を狙う。
2	網走商工会議所 (北海道)	【網走旬ツーリズム創出プロジェクト】 網走ならではの四季折々の”旬”の素材(食材、体験、景観、産業、催事など)”に歴史、文化を加えた、地域資源(地域力)を活用した新観光メニューを策定するための調査研究を行い、今後の観光産業の活性化と活力ある地域づくりに向けて次年度以降の新メニュー開発を目指す。
3	美唄商工会議所 (北海道)	【まるまるびばい・魅力まるごと売り込みプロジェクト】 温泉や運動施設、宮島沼などを入口として観光客などの交流人口の増加のため、「食」「農」「観光」を複合的に組み合わせ、地域の魅力を発信するとともに、農業者、商工業者、観光関連事業者や試験研究機関等が連携した農産物などを活用した新商品開発、販路拡大を目指す。
4	富良野商工会議所 (北海道)	【商店街の商品開発(一店逸品運動)の調査事業】 長年、市民の日用品調達先として親しまれてきた商店街を地域資源と捉え、一店逸品運動の展開による商店街並びに地域経済の活性化を目指す(目標商店街誘客数9万人、販売額10億円増)。
5	江別商工会議所 (北海道)	【江別市大麻団地の商店街再生と買物弱者対策の調査研究】 大麻団地は、空き家・空き地の増加、商店街の空洞化、冬場の除雪と交通手段の確保などの問題に直面している。良質な居住空間を維持・向上させるため、地域と共に生きてきた商店街組合や、地域自治会と協力して、団地再生の協働事業を立ち上げる。
6	弘前商工会議所 (青森県)	【JAPANプレミアム「弘前りんご」ブランド構築プロジェクト】 青森県は全国のおりんご収穫量の52%、弘前市は21%の収穫量と135年の栽培歴史を誇る地域である。食の安全安心が求められる今、無農薬・無肥料化を目指した1次産品を活用した、農工商連携による6次産業化を目指す調査研究を実施する。
7	花巻商工会議所 (岩手県)	【雑穀等を活用した農工商観連携による花巻ブランド特産品開発事業】 花巻市の雑穀生産において、主要6穀収穫量日本一の生産能力に着目し、市内飲食店や宿泊施設で提供する雑穀を活用した料理メニューの開発と、そのメニューに関連した観光客向けの土産品となる商品開発の調査研究を行う。
8	横手商工会議所 (秋田県)	【後三年の合戦を活用した観光・特産品開発プロジェクト】 平泉を中心とした藤原三代の栄華を築く契機となった後三年の合戦という歴史的資産を掘り起こし融合させて新たな資源として開発し、観光誘客増を図り、年間450万人を目指す。
9	酒田商工会議所 (山形県)	【着地型観光の促進と「傘福」事業のビジネス化に関する調査研究】 「着地型観光」促進の戦略を構築するとともに、酒田商工会議所女性会が復活させたつるし飾り「傘福」を観光資源として着目し、着地型観光への展開やビジネス化を目指すための流通、販売促進の方法を調査研究する。
10	会津若松商工会議所 (福島県)	【歴史再発掘・産業観光調査研究事業】 近代遺構と伝統的ものづくり産業へ光を当て観光と結び付けた「産業観光」の商品具現化と、鶴ヶ城のリニューアルに合わせた白虎隊・戊辰戦争に依存しない着地型観光を調査研究する。
11	上越商工会議所 (新潟県)	【謙信ブランドを活用した周遊ルート開発事業】 2015年の北陸新幹線開業に向けて、交流人口増加を目指し上越市の産業を定着させるため、上杉謙信ブランドに着目し、春日山城と高田城、さらには佐渡とを結ぶ周遊ルートの調査を実施する。
12	黒部商工会議所 (富山県)	【新幹線開業をチャンスとする黒部峡谷の恵み開発プロジェクト】 国際A級の観光資源である「黒部峡谷」を有し、平成26年度には北陸新幹線が開業し、新黒部駅が設置されることから、土産品や体験型観光商品開発を促進。また、新駅の土産品店の整備イメージを作成する。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
13	小松商工会議所 (石川県)	【地域ぐるみ・地域力総活用、新名産・名品創出と食の祭典創出事業】 地域総ぐるみの農工商連携で、地域資源活用の新名品・名産の創出、地域力結集をアピールする食の祭典企画を策定し、市外・県外にアピール。第1～3次産業連携で相乗効果・波及効果を狙い、消費・売上拡大で地域活性化を図る。
14	七尾商工会議所 (石川県)	【「すし王国能登七尾」ブランドづくりに向けた調査研究事業】 「すし王国能登七尾」をコンセプトとし、新鮮な魚介が豊富な七尾市の「すし」の素材を調査研究する。新たなメニューづくりの試作により、すし王国七尾のブランドづくりに向けて調査し、北陸新幹線金沢開業による観光客のニーズへの対応策を探る。
15	上田商工会議所 (長野県)	【上田地域伝統産業活性化プロジェクト事業】 上田地域は養蚕、蚕糸業等地域特性を活かした伝統産業として上田紬が続いている。生活様式等社会的条件が著しく変化し、和服の着用等需要減から伝統産業が衰退の危機にあるため、産学官連携による地域資源を活用した伝統産業活性化プロジェクトを立ち上げる。
16	松本商工会議所 (長野県)	【EVを活用した滞在型山岳観光の可能性と、新たな観光ビジネスモデルの調査研究事業】 宿泊業、運輸業、旅行業など様々な地域力を連携させ、松本広域圏の地域資源とEVを最大限活かした滞在型山岳観光のあり方を見据え、新たな観光ビジネスモデルを開発するための調査研究事業を行う。
17	岡谷商工会議所 (長野県)	【名医：徳本さまゆかりの岡谷から新しい健康産業を創造する地域力展開事業】 江戸初期の名医：徳本さまが晩年を迎えた岡谷。健康にまつわる多くの伝承が今に語り継がれている。その伝承を紡ぎだし、シンボルとして徳本さまに注目して、岡谷から新たな健康産業を展開する。
18	下諏訪商工会議所 (長野県)	【中山道下諏訪宿「神宿る下諏訪温泉」漫遊記】 甲州街道の終着点であり、中山道唯一の温泉宿場町下諏訪宿で、神宿る温泉と街道を活かした観光客目線の着地型観光プログラム開発を目指し、滞在エリアの範囲拡大と観光消費額の増加を目指すための調査を行う。
19	飯山商工会議所 (長野県)	【峠の合戦食開発プロジェクト調査研究事業】 飯山の歴史文化が育んできた幻のそば「富倉そば」や野戦食「笹寿司」を観光資源として捉え、新しい商品の開発と販売体制について調査研究を行う。また、新たな食のブランドとしての確立を図り、着地型観光に結びつけ、交流圏の拡大に対応できるような体制づくりを目指す。
20	鹿沼商工会議所 (栃木県)	【地域の木工技術を活かしたリフォーム市場への参入・需要開拓調査】 鹿沼市に伝承され集積する木工技術を活かし、リフォーム市場への参入の可能性と需要開拓手法について調査を行う。特に、顧客ニーズを把握し、市場ニーズに対応した製品開発及び改良、新サービスの検討、並びに多様な販売チャンネルの構築方法について、検討を行う。
21	大田原商工会議所 (栃木県)	【とうがらしの郷大田原ステップアッププロジェクト】 ～マイナー産業からメジャー産業へ～ とうがらしの郷における、商品コンセプトやニーズの把握不足を徹底的な調査分析で払拭し、求められる新たな商品づくりで、メジャー産業にステップアップさせる。
22	青梅商工会議所 (東京都)	【みたけ山「おいぬさま」活性化事業】 みたけ山に伝わる「おいぬさま」の伝承を利用した観光誘客を計画。近年のペット(イヌ)連れの観光客増に着目し、観光客及び受入れ側に調査を実施し、その結果を分析して(ペットに優しい)受入れ体制を確立したい。
23	厚木商工会議所 (神奈川県)	【県産木を活用した「クラフト体験ツアー」と着地型観光開発】 厚木の丹沢地域の山林の荒廃をビジネス手法で解決するため、県産木販路開拓と販売の相乗効果を生み出す着地型観光商品の開発に取り組む。中長期的には都心在住者に「手軽に木工を楽しむ」体験型ツーリズムとして定着させ、地域の温泉郷と連携した観光コンテンツの柱に育てる。
24	富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士山駅・富士信仰を活用した観光サービスの開発等調査研究事業】 富士山北麓には国の内外から年間1,800万人を超える観光客が訪れる。富士吉田駅が「富士山駅」に改名するのを契機とし、地域の資源である歴史・文化、自然環境等を活用した富士山観光の拠点づくりと特産品の開発を図る。
25	大垣商工会議所 (岐阜県)	【西美濃流おもてなしサービスの構築に向けた調査研究事業】 平成24年のぎふ清流国体、平成26年の芭蕉生誕370年などを視野に入れ、当地域の更なるおもてなし環境を強化するため、地域資源を活用した当地域独自の「西美濃流おもてなし」の新たな構築を目指し、調査研究事業に取り組む。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
26	神岡商工会議所 (岐阜県)	【天空の里 山之村地域活性化事業】 「神岡町、やまのむら山之村地域の存続・維持」を目的とし、地域住民の生活の安定を図るため、雇用の創出と経済の活性化を含めた地域振興の実現を目指す。地域住民のモチベーションの基礎を築き、次へのステップとする。
27	半田商工会議所 (愛知県)	【半田市から始める知多半島スマート回遊を目指したおもてなし事業】 愛知県知多半島の観光中心都市である半田市ではさまざまな地域資源が存在するため、地場産業を活かした土産物を開発するとともに、観光拠点を結ぶ回遊コースを設定する。観光客の回遊性を高める手段としてスマートフォンに代表されるICTの活用を視野に入れ、調査・研究を進める。
28	安城商工会議所 (愛知県)	【願いごとからはじまる物語～あなたは何を願いますか？調査】 日本三大七夕と称される「安城七夕まつり」の公式キャラクター「きーぼー」をコアモチーフとした開運グッズ開発、ならびに、中心市街地交流広場のパワースポット(＝観光地、ランドマーク)化など「願いごとの街安城」づくりに関する調査研究を行う。
29	西尾商工会議所 (愛知県)	【新西尾市の観光開発調査研究事業】 西尾市は自動車関連産業が多くを占めるが、需要低迷や生産拠点の海外移転など厳しい情勢で、新産業の創出が急務である。新西尾市の本年合併誕生を機に、抹茶、うなぎ他豊富な産品を活かし、観光開発事業をスタートさせる。
30	四日市商工会議所 (三重県)	【産業都市・四日市の観光資源発掘・商品化調査研究事業】 人気が高まっているコンビナート夜景観光や工場見学を核とし、地場の伝統産業である陶磁器「萬古焼」、高級茶「伊勢茶」などの外部評価、調査等を通じ、観光資源となるものを研究し、公害を克服して発展し続ける産業都市・四日市の現状を国内外に示すため観光事業の確立を目指す。
31	鳥羽商工会議所 (三重県)	【御食国答志島が再現する天平の御食料理を食す旅調査研究プロジェクト】 古より、朝廷や伊勢神宮に魚介類を献上し、万葉集に御食(みけつ)国と詠まれる答志島産の魚介類と平安を代表する果樹やまたちばなの花酵母を活用した天平の御食料理を式年遷宮と合わせ再現、疲弊する島経済の活性化す。
32	近江八幡商工会議所 (滋賀県)	【里湖「西の湖」が育む地域食文化創出プロジェクト】 琵琶湖最大の内湖、西の湖が育む地域食文化創出を目指し、調査研究を行う。「健康・癒し」「先人の知恵と技」の観点から、地域の素材を活かした特産品開発を行い、ツーリズムにつなげていく。
33	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪を象徴する「中之島地区」を活用した、新たな観光サービス】 大阪城や中之島など、大阪を象徴する公共空間の“使いこなし”に向け、国の規制緩和が進む河川空間に焦点をあて、民間事業者とともにビジネス視点で活用する具体プランと管理活用の仕組みを研究し、新たな観光名所をつくる。
34	橋本商工会議所 (和歌山県)	【高野山麓・紀ノ川畔 紀州橋本く柿プロジェクト】 橋本伊都地域の柿生産は、生産高40,449トン、県シェア70.8%と日本一かつ圧倒的である。しかしながら、その大量の柿はほとんどが生食用果物として出荷され、広範な利用促進が待たれている。その大きな生産量ゆえにまた大きい、廃棄するものの用途開発を目指す。
35	徳山商工会議所 (山口県)	【産業観光ツアーと周南名物ブランド商品の開発に係る調査研究事業】 「ふぐ」「はも」「たこ」を使った弁当の開発とともに、周南地域4商工会議所で実施している「産業観光ツアー」と連携し、「日本一のコンビナート夜景」と「周南ブランド特産品」として、全国に向け情報発信出来るよう調査研究を行う。
36	柳井商工会議所 (山口県)	【瀬戸内の水産資源を活用した地域産業観光促進事業】 平成23年10月開催の山口国体、平成24年に岩国民間空港開港を見据え、岩国・柳井観光ルート構築の一環として、三方を海に囲まれた山口県の南東部の瀬戸内海に面した柳井地域の小魚等の水産資源を活用した「郷土料理」開発の調査研究を行う。
37	高松商工会議所 (香川県)	【盆栽のソムリエを育成する研修機関設立と新製品開発の調査事業】 江戸時代から伝わる当地の松盆栽をブランド化するため、産地(鬼無町・国分寺町)の後継者を盆栽のソムリエとして育成するとともに、新製品「Bonsai」開発の調査事業を実施する。
38	多度津商工会議所 (香川県)	【近代産業の歴史ある「たどつのみち」のブランド化事業】 歴史的な背景の中で、港、鉄道、電力、銀行など商工業が発展した「たどつのみち」を、1つのブランドとして創出させ、次世代へ継承させるための人材育成と、町のにぎわいづくりから徐々に活性化へと発展させることを目指す。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
39	竹田商工会議所 (大分県)	<p>【海彦・山彦・キリシタン街道創出事業】</p> <p>竹田地域と平戸地域は岡城と平戸城があり、ともに城下町文化、キリシタン文化を共有する。YOKAROバスが福岡を中継基地として、両地域で運行されるので、歴史的資源と海の幸や山の幸を使った特産品開発の調査を行う。</p>
40	いちき串木野商工会議所 (鹿児島県)	<p>【「食のまち」を楽しむ仕掛けづくり・名物料理開発調査事業】</p> <p>6次産業化に向けて総合的な取組みによる地域産業おこしや地域ブランドの形成を目指している。その取組みの更なる推進を目指し、市外からの流入人口の地域内消費滞在時間を延ばすため、食のまちを楽しむ仕掛けづくり・名物料理開発調査事業を行う。</p>

平成23年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
 本体事業1年目

No.	実施事業者 (都道府県)	事業概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【マンガ作品等コンテンツ活用による新観光創出事業】 札幌は数多くのマンガ作家を輩出し、彼らの作品には札幌の風景や景観が映し込まれているものが多い。また日本のマンガ作品が高く評価されていることから、マンガ作品等のコンテンツを活用した新たな観光資源の発掘による観光客の誘致を図る。
2	石狩商工会議所 (北海道)	【あい風のまち「新石狩ブランド」ブランディング事業】 石狩市内の農工商団体が共同参画して、相互間の連携をより強固にし、北海道の大型消費地である札幌市はもとより、道内外へ「新石狩ブランド推奨品」のPRを展開する。また、新商品・新製品のブランディング事業展開を推進する。
3	北上商工会議所 (岩手県)	【東北No.1 二子さといもの「頭芋」を活用した物産品開発事業】 全国的に認知され、継続的に販売が見込まれる北上市を代表する物産品を開発し、平成28年に開催される岩手国体に参加・観戦するため来県する方々から、土産品の第一選択肢として選ばれる商品に成長させることを目指す。
4	燕商工会議所 (新潟県)	【アパレル業界とのアウトドアグッズの共同開発】 ファッション業界のビームスとコラボしてアウトドア向けのカトラリーとステンレスカップとプラスチック製マイ食器を開発する。ファッションな若者をターゲットに商品開発をし、燕製品の知名度を高める。
5	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【日本初！世界認定 糸魚川ジオパーク着地型観光開発プロジェクト】 日本で初めて世界ジオパークに認定された「糸魚川ジオパーク」の魅力を観光関係事業所・地域住民と連携し、交流人口拡大に向けた新しいモデルの滞在型着地観光商品開発を行い、観光ニーズの掘り起こしからブランド化を目指す。
6	新井商工会議所 (新潟県)	【きれいな水の里妙高へ 妙高産業観光・体験型観光開発プロジェクト】 妙高山の恵み「きれいな水」は、当地に、香辛料かんずり、銘酒、野草酒、豆腐工房等の食品製造業群と妙高野菜、山菜、雪えび、こそば等の優れた食材を生み出した。これらを組み合わせ、新たな観光ルート、名物料理、お土産開発を行なう。
7	加茂商工会議所 (新潟県)	【加茂に Come on！ 歩いて・食べて・技を見て～手軽で新しい観光プロジェクト】 地域に存在する地域資源を調査研究し、その魅力を最大限に生かしながら、コンパクトシティならではの回遊性のある観光ルート、加茂らしい新土産品を研究・開発する。手軽で身近な観光地としての基盤づくりに取り組み、賑わいのある町づくりと地元企業の収益拡大を目指す。
8	輪島商工会議所 (石川県)	【「ウェルカム to 輪島」ホスピタリティープロジェクト】 輪島市の観光資源・地域資源を活かし、環境に配慮した次世代型「未来観光商品」という観光モデルの構築・開発をすることで、交流人口の拡大と地域住民の利便性向上が図られる、地域の経済に貢献する総合的な発展を目標とする。
9	岡谷商工会議所 (長野県)	【おかや産業観光モバイルサイト(仮)構築と活用による新事業展開プロジェクト】 産業観光は、今注目の観光ジャンル。体験型の産業観光に期待する声は多い。参加の動機付けになるコンテンツの提供とそれを活用した新しいメニューの創設により産業観光を多くの人が楽しめる観光ジャンルと位置づける。
10	下館商工会議所 (茨城県)	【菓子のまち筑西しもだてブランド創出事業】 昨年度の調査研究事業により、ブランド創出に向けた「人づくり」「交流拠点づくり」「ほんものづくり」の3本の柱を決めることができた。本年度は、3本柱を中心に菓子のまち筑西しもだてブランドを全国に発信すべく事業を展開する。
11	日光商工会議所 (栃木県)	【日光の地域資源を活かした特産品開発】 蕎麦生産者、寒ざらし業者、蕎麦製粉業者等地域住民が有機的に連携することにより、寒ざらし蕎麦を生産し、それをういた寒ざらし蕎麦ならではの甘みと風味を生かした日光特産物となるビール、ケーキ、パスタの試作品作りを行う。

No.	実施事業者 (都道府県)	事業概要
12	行田商工会議所 (埼玉県)	【浮城のまち行田、歴史のまち歩きとふれあい観光の商品化】 浮き城のまち行田で、忍城址や古墳群などの歴史資源散策や足袋蔵などの近代化遺産めぐり、さらに地元の食文化体験などを、関係団体の協力のもと、まち歩き観光商品化とまちづくり観光マーケティング戦略づくりにより中長期的に地域活性化を図る。
13	佐原商工会議所 (千葉県)	【江戸優り佐原の町並み空間を活用した暮らしぶりブランド化事業】 ①伝統的町並み・商家に受け継がれてきた「江戸優り」を背景にする“暮らしぶり”を地域資源として活用すること、②それを市民力を結集し佐原固有の文化・芸術等へとつながる地域商品づくりを創出することを通じて佐原のブランド力を高めることを目指す。
14	富士商工会議所 (静岡県)	【海拔0mから富士山頂へ！富士のまちにぎわいプロジェクト】 海拔0mから富士山頂を目指す新たな登山ルート開発に向けたモニター登山を実施する。調査研究事業によって、掘り起こされた地域資源を活用した観光商品化及び地元イベントの開催、首都圏展示会への参加などの宣伝PRを行う。
15	磐田商工会議所 (静岡県)	【地場産品を活用した弁当開発 ～「ジュピロ磐田」弁当を目指して～】 温暖な気候と豊かな漁港に恵まれ、高い出荷額を誇る磐田市の農水産系特産品を地域資源ととらえ、市町村合併後数年を経た新しい磐田市を象徴する弁当を開発し、広く展開することで、食を通じ「磐田らしさ」を全国にアピールする。
16	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【プロジェクト 蒲郡「あそび100」創出事業～蒲郡オンパク～】 事業の主たる内容は「蒲郡オンパク」とし、「蒲郡らしい・蒲郡ならではの」海・山・温泉・健康を融合した新たな魅力を掘り起こし、効果的な情報発信の仕組みを造成することで、多くの観光客を蒲郡へ誘致する体制を作る。
17	刈谷商工会議所 (愛知県)	【『坊ちゃんかぼちゃ』全国展開新商品開発プロジェクト】 新たに地域産業資源として国の認定を受けた『坊ちゃんかぼちゃ』を活用した商品開発を手掛け、トヨタ系企業の手土産や刈谷ハイウェイオアシス等での販売により、全国展開を目指し地域経済活性化の糸口とする。
18	安城商工会議所 (愛知県)	【ユメプラスチック製品「AnjoHearts」ブランド創出事業】 ペットボトルキャップの再生材から生まれた新たな地域資源「ユメプラスチック」を原材料にしたAnjoHeartsブランド製品を企画製造することで、独創的な新産業を創出し、自動車産業への過度の依存体質から脱却を図る。
19	津島商工会議所 (愛知県)	【『信長の台所 津島「信長めし」』プロジェクト】 古い歴史や観光スポットに恵まれているものの、郷土料理やグルメが少ない現状を踏まえ、津島の歴史文化に裏付けされた「信長めし」を新しい地域資源として創出し、津島固有の豊富な地域資源とリンクして観光総合力を高める。
20	桑名商工会議所 (三重県)	【くわな鋳物新製品開発事業】 桑名商工会議所、三重県鋳物工業協同組合、桑名市が事業主体となって、一般家庭用品を開発する。平成23年度から25年度で試作品を9点程度を目処に作製し、市民モニタリングや販売促進キャンペーンの実施などを行い、市販化を目指す。
21	上野商工会議所 (三重県)	【「忍びの伊賀」魅力満載事業】 忍び五道の概念から、特に薬草と忍者衣装に注目し、現代的な活用のあり方を提案する。その実現に向けて、現代風に再構成することで積極活用につなげていく。着地型観光を舞台に、それらを体感して頂き、全国的な日常活用に繋がることを目指す。
22	京都商工会議所 (京都府)	【京都クリエイティブクラフトPROJECT】 京都が誇る技、意匠、素材を活用して、現代のニーズに合った売れる商品を創造するために、個別事業者の経営体質の改善と意識改革を、セミナー(集団指導)と個別指導を併用して実施する。
23	岸和田商工会議所 (大阪府)	【だんじりと人情のまち「岸和田」の着地型観光推進等プロジェクト】 岸和田には全国的に有名なだんじり祭がある。だんじり祭以外にも様々な地域資源が存在し、その魅力をPRすることが更に岸和田の活性化につながると考え、事業者を巻き込みながら観光開発事業を実施する。

No.	実施事業者 (都道府県)	事業概要
24	神戸商工会議所 (兵庫県)	【兵庫津周辺活性化推進事業】 平成24年NHK大河ドラマ「平清盛」の放映を機に、兵庫津周辺に点在する魅力(清盛塚、兵庫運河、兵庫大仏等、観光施設や企業・名店等)を一体として有効に活用することを通じて、人の流れを生み出し、活気と賑わいを創出する取り組みを進める。
25	尼崎商工会議所 (兵庫県)	【尼崎の食ブランド創設プロジェクト ～産業(労働)と食の融合を目指して～】 尼崎のビジネス拠点としての魅力回復と商業活性化を軸とした地域経済の発展を目指し、尼崎の産業発展の歴史と縁の深い「尼詰」と「あんかけチャンポン」の2つの地域資源を有機的に活用し、「産業(労働)と食の融合」による尼崎独自の食ブランドを創設する。
26	大和高田商工会議所 (奈良県)	【大和高田地域ブランドを担う繊維製品の開発】 繊維産業がOEMとして国内の繊維産業を支えていることから、①地域ブランドにふさわしい繊維製品を開発する②市民の地域産業への理解を深める この2本の柱を育てながら地域活性化を図る。
27	下関商工会議所 (山口県)	【平家滅亡の哀歌～関門海峡「平家伝説」創造プロジェクト】 関門海峡沿いに点在する「平家滅亡」の悲劇にまつわる観光素材に焦点を当て、平家シンポジウム並びにモニターツアーを実施する。その結果を基に、様々な角度から各観光素材を評価、問題点・課題を整理し、魅力ある旅行商品として組み立てる。
28	萩商工会議所 (山口県)	【萩のヨコワ(本まぐろ若魚)プロジェクト】 萩市が全国有数の漁獲量を誇る「ヨコワ(引縄釣漁で漁獲される本まぐろ若魚)」を、萩特有の食材として再評価し、新たな料理レシピの開発や、加工食材を新規開発する。一般小売向け・飲食店業務用素材として販路開拓を行うとともに、新しい萩市の名物食材としてプロモーションする。
29	今治商工会議所 (愛媛県)	【今治地域特産の農水産物を活用した特産品開発プロジェクト】 鳥生レンコンとはだか麦、当市の地元名産の農林水産物を活用し、地元菓子メーカーおよび一般消費者との連携を通じて魅力ある新しいお菓子を開発し、全国展開へ向けた素地づくりを行う。
30	北九州商工会議所 (福岡県)	【楽しみながら学び、体験する新しい産業観光の推進】 産業観光推進委員会の設置、モニターツアー実施による産業観光の商品化と動画を駆使したHPなどを作成して観光客の誘致を図る。また観光情報の一元化を通じて産業観光情報センターの設置について調査、研究する。
31	伊万里商工会議所 (佐賀県)	【伊万里スイーツブランド連携プロジェクト】 梨、ぶどう、梅、黒米などの農産物を利用した「スイーツ」や、「デザート」などの特産品を開発して、伊万里はお菓子の縁がある町であるということをPRする観光開発に取り組む。
32	熊本商工会議所 (熊本県)	【熊本城と城下町人が「観」「食」「人」でおもてなし】 熊本のシンボルである熊本城の夜間開園に合わせて「夜の観光」を開発し、秋のくまもとお城まつりの会場と城下町の飲食店では“絶品グルメ”を提供することで、新たな夜の熊本の魅力を創り、宿泊客の増加を目指す。
33	本渡商工会議所 (熊本県)	【天草南蛮もてなしプロジェクト】 『美容と健康』をテーマとし、天草の地域資源と南蛮文化を組み合わせた「食のもてなしの商品開発」や「心のもてなしの観光開発」を、飲食・宿泊事業者を中心に連携を強化しながら実施する。
34	津久見商工会議所 (大分県)	【「来て見て・つくみ」新発見】 うみたま体験パーク「つくみイルカ島」事業の効果的な展開を通して、中心市街地への周遊による“にぎわい”の創出を図り、食観光の魅力の増大と観光資源を活用した着地型観光の推進、地域資源を活用した特産品開発で地域活性化を目指す。
35	出水商工会議所 (鹿児島県)	【食の観光地化プロジェクト】 山・川・海・平野と自然に恵まれた環境で育った地域資源を活用したグルメやスイーツ等の開発を継続的に行い、将来的には食の観光地として、既存の観光地との相乗効果による交流人口の増加を図り、地域活性化に繋げる。

平成23年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
 本体事業2年目

No.	実施事業者 (都道府県)	事業概要
1	稚内商工会議所 (北海道)	【最北稚内フットパス推進プロジェクト】 誰にでも気軽に自分のリズムで楽しめるのがフットパス。歩きながら地域の自然や風土を体感できるテーマ性を持っており、現在主流のニューツーリズムに対応できる。
2	美幌商工会議所 (北海道)	【美幌産豚を使用した豚醤油と関連商品の開発並びに販路開拓】 肉醤油並びに関連商品を開発して道内外での販売を目指す。その結果、新たな美幌の名物が誕生し「美幌」の知名度を上げる効果が生まれ、今まで連携の少なかった町内各者の一体感が向上して明るい活気のある町にしていく。
3	諏訪商工会議所 (長野県)	【「果汁搾り機(カジュッタ)」改良・販路拡大プロジェクト】 諏訪の精密加工技術を活用した「果汁搾り機(カジュッタ)」を市場販売できるよう試作改良し、「ものづくりSUWA」ブランドの向上と、工業製品出荷額増加へとつなげ、地域活性化へと発展させていく。
4	茅野商工会議所 (長野県)	【ハケ岳山麓スーパートレイルのブランド化による集客拡大事業】 ハケ岳を周回する国内最長約200kmのスーパートレイルのブランド化により集客拡大を図るため、ウェブサイト等を活用した新たな情報発信や人材育成などを行うとともに、マネジメント機能を強化し、周辺12市町村の広域観光活性化に努める。
5	佐久商工会議所 (長野県)	【日本三街道「中山道」活用と自然療法型ツアーの発売事業】 中山道ブランドを活用し、旅の情緒を引き立たせる商品開発等を行う。協議会メンバーの連携でツアーを発売し、募集・受入体制等の仕組みを構築。田舎暮らし体験施設のイベントを通じ、全域での「いやしる地」組織づくりに着手し、活動のアドバイスをを行い、事業の自立化を目指す。
6	足利商工会議所 (栃木県)	【足利銘仙プロジェクト事業】 地域資源「足利銘仙」を活用したライフスタイル・イノベーションを推進。まちなか回遊とモニターツアー、neo銘仙のブランドおよび商品開発・販売、サイト構築等による情報発信を統合的に実施、市場開拓を促進する。
7	敦賀商工会議所 (福井県)	【地域資源を活用した試作品改良及び販路開拓事業】 現試作品を普及させるには、原材料の吟味・コストの調整・保存性の向上などの課題があり、今年度より流通市販に対応できるよう商品改良を行い、県内外への販路開拓に取り組む。
8	竹原商工会議所 (広島県)	【“TAKE1”プロジェクト 竹原産の特別な筍を利用した商品開発と販路開拓】 竹原産「特別に育てる筍」を活用した新商品開発と大都市圏での販路開拓により、「安芸の小京都」といわれる竹原市の認知度拡大と来訪者増加を、農家・食品加工・飲食・ホテル事業者等の連携体制で構築し、活性化に結び付ける。
9	直方商工会議所 (福岡県)	【レトロなまち・直方博(仮)～「レトロなまち・直方」の息吹を感じる】 過年度事業で開発したご当地グルメを組み込んだ本市の歴史・産業を体験できるプログラムを作成し、その担い手を育成していく。同時に直方市の特産品開発を行い、それらを近隣都市に発信していくことで、本市の認知度の向上・収益の増大を目指す。
10	日向商工会議所 (宮崎県)	【日向耳川流域の「建築・文化観光」づくりのブランド形成】 宮崎県外からの流入人口を増加させることを目指し、木造建築物や森林文化、地元の人的資源・もてなしといった地域資源を楽しむ「学ぶしかけ(建築・観光文化プログラム)」作りを行う。

平成23年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
地域の魅力でおもてなし事業2年目

No.	実施事業者 (都道府県)	事業概要
1	帯広商工会議所 (北海道)	【とちかち癒(ゆ)とりフェスタシーズン2011[略称:癒(ゆ)とりスタ2011]】 北海道・十勝の「観光」「環境」「健康」に係わる地域資源を再発見し、「人がもてなす＝癒し」というキーワードで道央圏に再発信することにより、整備が進む交通インフラを利用した来訪者増と滞在時間増、ひいては経済波及効果増を狙ったおもてなし事業を行う。
2	天童商工会議所 (山形県)	【J1モンテで“山形ファン”づくりプロジェクト】 J1「モンテディオ山形」(コア資源)の本拠地で、サッカー観戦を主とした「スポーツ・ツーリズム」の推進と受入体制の整備を図り、地域内の観光・物産・文化・交流資源を活かした“おもてなし”を通して県外観戦客らとの交流拡大につなげ、地域の活性化を図る。
3	三条商工会議所 (新潟県)	【燕三条Organic Lifestyle Creationプロジェクト事業】 地域に対する誇りと愛情を原動力に、燕三条の魅力を表現するライフスタイルを創りあげ、多くの魅力の一つの価値に統合し発信するコづくりを行う。産業・食・文化など体験型イベントを行うことで来街者が増え、住民からもより高い誇りを感じ取ってもらう事業を展開する。
4	小千谷商工会議所 (新潟県)	【越後ちぢみの里 おぢやこいこい博事業】 小千谷の魅力ある地域資源を磨き束ねて紹介することにより、来訪者を増やし地域経済に貢献しうる地域内消費型観光事業を目指す。またHPの予約から効果検証までできるシステムを利用し、来訪者をワンストップで支援する。
5	高岡商工会議所 (富山県)	【道の駅による「食のブランド化」と「体験滞在型観光」推進事業】 食とものづくりの地域資源を活かした魅力ある商品・サービス・体験メニューを、誰もが訪れる道の駅を核にして、県外からの来訪者に提供する。「体験滞在型観光」で交流人口の増大を図り、地域の活性化を目指す。
6	諏訪商工会議所 (長野県)	【諏訪湖周まちじゅう芸術祭】 行政区の枠を越え、周遊観光の切り口をつなぎ、諏訪湖周に点在する16の美術館・博物館を軸に、アートを中心とした体験交流プログラムの充実を図り、諏訪地域での滞在時間を長期化させ、滞在型観光を創造する。
7	京都商工会議所 (京都府)	【「京の七夕」商店街・企業等支援事業】 京都商工会議所、京都府、京都市等オール京都で実施する「京の七夕」事業に参画する商店街や企業・団体等による協賛事業に対する広報等の支援事業を実施することにより、それらの観光資源としての魅力を掘り起こす。
8	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪産(もん)の魅力発信による食の都・大阪のフードツーリズム】 大阪の多様な食資源を、歴史ある大都市ならではの「老舗」、食を楽しむ空間としての「水辺」をコアな切り口に、人との交流や体験を通して、“魅せる”“食べる”“楽しむ”を実現するフードツーリズムを展開する。
9	府中商工会議所 (広島県)	【地場産業を核にした「府中玉手箱～ものづくり博覧会～」事業】 「地場産業」を核に、「府中焼き」「恋しき」「石州街道出口通り」等の多様な地域資源を一体的に観光資源として活用することにより、府中市を広く全国にPRするとともに、多くの観光客を誘致する体制をつくる。
10	延岡商工会議所 (宮崎県)	【ひむかのくに えんぱく(延岡感動体験泊覧会)】 海・山・川の大自然をはじめ、産業遺産群や歴史・景観・グルメなど多彩な地域資源に恵まれる宮崎県北(ひむか)エリアにおいて、地域の魅力を一堂に集約し、街全体をテーマパーク、案内役である地域住民自身をパビリオンに見立てたおもてなしの祭典「えんぱく」を開催する。